

会 議 録

会 議 名		平成 29 年度交付分 第 3 回市民企画事業補助金申請事業評価会議
日 時		平成 29 年 4 月 15 日（土） 午後 1 時 30 分 ～ 4 時
場 所		八王子駅南口総合事務所 会議室
出席者氏名	参加者	座長：新田目夏実、西谷瑞希、小町孝、土屋和子、甘利昌史、田尻冴子、（敬称略）
	事務局	岩田充協働推進課長、樺津聡主査、朝日知恵子主任
欠 席 者 氏 名		副座長：小室崇司 （敬称略）
議 題		1 平成 29 年度補助対象事業の評価について 2 今後の日程について
公開・非公開の別		非公開
配 付 資 料 名		資料 1 平成 29 年度補助対象事業採択基準について 資料 2 平成 29 年度市民企画事業補助金(A 活動支援部門) 評価結果 資料 3 平成 29 年度市民企画事業補助金(B 事業実施部門) 評価結果 参考 市民コメントシート集計表
議 事 進 行		開会 (1) 事務局から進行について説明 (2) 配付資料の確認 (3) 平成 29 年度補助対象事業の評価 採択基準について確認した後、A 活動支援部門、B 事業実施部門の順で、獲得点数の高い順に参加者から意見を聞いた。 (4) 今後の日程について事務局から説明
議 事 内 容		(1) A 活動支援部門
		A-新-5 事業名：のうちのマルシェ 2017 団体名：のうちのマルシェ実行委員会 B 委員 28 年度の開催実績から、将来的に継続、発展的な事業展開が期待できると感じた。今回応募の事業が 2 回目の実施とのことだが、この補助金を足掛かりに将来を見据えて事業に取り組んでほしい。 D 委員 マルシェという地域的なイベントから、まち歩きなどによる地図製作への展開など、今後の展開が楽しみ。ブランド化も視野に入れたグッズ販売も面白いと思う。収支計画上、トートバッグを 40 個制作する予定だが、販売は 5 個と控えめとしている。最初から、控えめすぎな気がするが。

議 事 内 容	F 委員 クラフト作家が出店する手作り市は集客力があり、都内でも各所で開催されている。まちのにぎわい創出のほか、作家の支援にもなるが、主催者側のセンスが問われる事業でもある。その点、ホームページを見ると見せ方も工夫されており、また、初めての開催で 1,200 名を動員したということからも、宣伝力や実行力に問題がないように感じた。今後の活動の広がりに期待したい。 事務局 本事業が、一過性のイベントで終わらないよう要望するとともに、事業の実施を通じて、地域での新旧住民間のつながりが深められるような工夫に期待したいとの要望を付してはどうか。 座長 事務局から提案があったがどうか。 (委員からは異議なし) では、採択基準を満たし、補助金交付の必要性について全員が有りとしたことから、上記の要望を付して、採択とする。
	A-新-9 事業名：難病を元気にする！！（難病カフェ） 団体名：特定非営利活動法人難病ネットワーク B 委員 難病患者の交流の場として公益性と重要性を感じたが、収入に不安も感じた。 D 委員 難病の方々は、その実態がわかりにくく、団体がネットワークを作ろうと呼びかけても、個人情報保護の観点から民間では実態をつかみにくいため、当事者や家族から申し出てもらう機会を作ることが必要である。この点で、「難病カフェ」という企画は、敷居が低く誰でも参加できるので期待が持てる。最近「ガンカフェ」、「認知症カフェ」なども多くの地域で行われている。八王子にこのような団体ができ、かつ、地域の病院との連携が図られるのであれば、さらなる展開が期待できる。 F 委員 団体としての立ち上げは間もないが、すでにホームページで情報発信しており、難病カフェも数回の開催実績があるうえ、きちんと情報がほしい人に届き、参加者も集められている。今後の活動の広がりに期待したい。 座長 採択基準を満たし、補助金交付の必要性について全員が有りとしたことから、特に問題無しとし、採択とする。
	A-②-1 事業名：食に困る人々を地域で支えるフードバンク事業 団体名：フードバンク八王子えがお B 委員 活動の目的に、重要性も公益性も感じた。この活動が、支援を必要とする人たちに広まるとともに、支援する側の人たちにも広まってほしいと思う。

議 事 内 容	D 委員 市内の他のフードバンクなどとの連携を要望したい。そうした連携をつうじノウハウ等を習得し、安定した食品の供給と配給ができる仕組みに育ててほしい。 F 委員 28 年度の事業に比べ、会員数も活動内容も大きく進歩しており、会として自信につながったのではないかと。持続可能な活動となるよう、応援したい。 座長 採択基準を満たし、補助金交付の必要性について全員が有りとしているが、委員からの意見を踏まえ「他のフードバンクや、いわゆる『子ども食堂』に取り組む団体等との更なる連携を図ること」との要望を付して、採択とする。
	A-②-2 事業名：マルベリーハートフルフェスタ 団体名：マルベリー東京パイロットクラブ B 委員 収入の部分で不安はあるが、障害者の社会参加のために有用な活動である。 D 委員 障害者の方々の社会参加の場、自身の生活の目標となる場を企画・実施するという視点は、価値があると思う。障害の程度により、企画運営の一部にでも参加できれば、やりがいやリハビリプログラムにもつながるのではないかと。 一方で、28 年度の事業で、当日の来場者の中に一般の市民がどの程度いたのかが気になる。関係者の集まりに留まらず、広く市民にも発信し理解を深めていく試みがあると、さらに本事業の意味が深まると思われる。 事務局 本事業には、市民の障害者への理解を深めるという目的があることから、「事業の実施にあたっては、関係者ではない市民の参加が得られるよう工夫するとともに、障害者に対する理解を深めるような内容を盛り込むこと」と要望してはどうか。 座長 事務局から提案があったがどうか。 （委員から異議なし） では、採択基準を満たし、補助金交付の必要性について全員が有りとしたことから、上記の要望を付して、採択とする。
	A-新-1 事業名：もとはち東ふれあい食堂 団体名：もとはち東ふれあい食堂プロジェクト 事務局 A 委員から「収入の面で多少不安があるものの、会場や食材の確保において他団体との連携を考慮しており、活動の広がりを感じたので、できるだけ支援したい。」とのご意見をいただいている。

議 事 内 容	B 委員 事業の目的に挙げられている、貧困、孤食などの問題を抱えた子どもや、単身高齢者の団らんの場や見守りの場となればよいと思う。また、食育や世代間交流の場にもつながればよいと思う。 D 委員 高齢者と子どもを対象にしている点は評価できるが、具体的なプログラムとなると、ひと工夫必要だと感じた。食事を子ども向けのメニューにするのか、高齢者向けにするのか検討が必要であり、また、一緒に食卓を囲めば、コミュニケーションが図られるというものでもない。交流プログラムについても考えておくとういと思う。 F 委員 月 1 回の開催を、計画通り実行することを応援したい。地域の中での連携や、他の地域との連携・波及にも期待する。 座長 食品を扱う事業であるため、衛生面で十分な配慮を行うよう要望したい。 (委員から異議なし) では、採択基準を満たし、補助金交付の必要性について全員が有りとしたことから、「食品を取り扱う事業であるため、衛生面で十分な配慮を行うこと」との要望を付して、採択とする。
	A-新-4 事業名：精神疾患当事者が畑で元気になるプロジェクト 団体名：特定非営利活動法人ルーツ・ユアセルフ 事務局 A 委員から「精神疾病の方が年々増加しているなかで、この事業は広く市民を対象としており、公益性は高いと判断する。収穫した野菜の販路の確保が成果を左右する心配があるので、実施にあたっては計画面をさらに詰めた方がよいと思う。」との意見をいただいている。 B 委員 精神疾病の方を対象にしている事業であり、大変興味深く感じた。高齢者への生きがいは耳にするが、こういった精神疾病の方の生きがいはづくりや社会参加へのアプローチも大切なのではないかと感じた。 F 委員 医学的なデータよりも、実際に農を体験することで回復が見られたという経験談は、大変説得力がある。 精神疾患の当事者自身が事業を運営する点は大きな特徴だと思うが、ターゲットがやや限定的なことが気になる。周囲の無理解や非寛容が当事者を苦しめるという話を聞くので、畑での作業に参加者（当事者）を増やすだけでなく、精神疾病について市民の理解を深められるような啓発にも活動を広げていくことで、より公益につながるのではないかと。

議 事 内 容	座長 事業の実施にあたっては、医療機関と連携するなど、参加者の安全を確保するよう要望したい。また、委員から意見があったように精神疾患の方に対する市民の理解を深められるような活動も必要ではないか。 (委員から異議なし) では、採択基準を満たし、補助金交付の必要性について全員が有りとしているが、委員からの意見を踏まえ「医療機関等との連携を十分にとり、事業の実施にあたっては参加者の安全を確保するよう留意すること。また、精神疾患の方に対する市民の理解を深められるような活動まで視野に入れること。」との要望を付して、採択とする。
	A-新-10 事業名：手作りでゆる〜く世界進出推進活動 団体名：手作りでライフスタイルを考える会 B委員 八王子市内において、この事業へのニーズがどれほどあるのか不明瞭である。また、今後このニーズが拡大していくのかについても疑問が残った。 D委員 「世界にアプローチする」という視点は評価できるが、「どうせやるなら世界を目指す」という発想に計画性が感じられず残念である。本当に世界を目指すなら、その点の企画に力を入れてみてはどうか。 女性の手作り品のネットワークはすでに多く存在しているので、八王子ならではの視点を加え、既存の企画とは差別化してみてはどうかと思う。 F委員 海外にこだわらず、まずは国内向けに「売れる作家」を目指す講座でも良いかと思う。その後、ステップアップとして、海外販売を目指す人向けの講座を検討するのがよいのではないか。 座長 本事業は、地域の課題解決や広く市民の利益につながる「公益性」の面で効果に疑問があり、また、補助対象として採択する基準に満たなかったことから、不採択とする。
	A-新-6 事業名：自分らしいコミュニケーションを見つけるためのワークショップ セミナー 団体名：マインドソリューション D委員 今回の応募事業は、地域性という視点が弱いので、例えば地域の他団体や町会・自治会と連携するなど、地域に貢献できる仕組みにすれば、発展や深まりの可能性があるのでないか。

議 事 内 容	F 委員 専門性は高いが、もう少しターゲットを絞り込む必要があるように感じた。今の段階では、本補助金を得てホームページやチラシを作ってもすぐに集客につながるという言い難く、また、この講座の受講が地域コミュニティや多世代交流に寄与するという明確な根拠が読み取れなかった。専門性があり、クオリティが高い事業が望めるので、計画をいま一度検討し、どんな人のどんな課題を解決したいのかを明確にしたうえで、再度の応募に期待したい。 B 委員 今後規模を拡大したとしても、自立して運営していける財源が確保できるのか、疑問が残った。 座長 本事業は、地域の課題解決や広く市民の利益につながる「公益性」の面で効果に疑問があり、また、補助対象として採択する基準に満たなかったことから、不採択とするが、委員から意見があったように、団体の専門性を活かし、地域の課題解決に具体的に結びつくよう計画を再考して、またの応募に期待したい旨、コメントを付したい。 (委員からの異議なし)
	A-新-3 事業名：空き家を地域の交流の場に！ 団体名：はちおうじ志民塾 6 期生の会 事務局 A 委員から「事業の目的は理解できるが、実施が年数回のそば打ちと俳句会では、公益性・期待度ともに低くせざるを得ない。残念である。」との意見をいただいている。 B 委員 空き家を有効活用し、地域での交流を図るという点に公益性を感じた。 D 委員 このようなイベントとしては参加費が高額で、親子で参加するにしても、若い家庭には負担が大きいと思う。謝金、講師報酬などの額も再考の余地があると感じた。 地域の交流拠点として空き家を活用しようとする流れが全国的にあるが、利用可能な空き家が見つかりにくいという現状がある。この団体では、空き家を所有している会員がいるため、この点をクリアしており、他団体より優位性があると言える。空き家をどのように地域に開放していくのか再度検討したうえで、またの応募に期待したい。 座長 本事業は、地域のコミュニティづくりに資するという点で評価できるものの、イベントの頻度や内容から、その効果が地域の課題解決につながるとまでは考えにくく、また補助対象として採択する基準に満たなかったことから、不採択とするが、委員から意見があったように、計画を再考してまたの応募に期待したい旨、コメントを付したい。 (委員からの異議なし)

議 事 内 容	A-新-2 事業名：親子で遊ぼう，5までの数で！ 団体名：特定非営利活動法人幼児算数教育研究所 事務局 A委員から「本事業を実施することで、『親子のコミュニケーション不足』や『貧困による格差の解消』にまでつながるのか疑問を感じた。」との意見をいただいている。 B委員 算数に特化した幼児教育へのニーズが、どれだけあるのか気になった。 D委員 日常の遊びをつうじて、幼児が数の概念を形成していることを理論的に証明するものであれば評価できると思う。 F委員 理数系の学力低下など、社会問題として取り上げられるべき課題であり、公益性がないとは言えないものの、本補助金の趣旨からすると少し違うように感じた。 座長 本事業について、専門性は認められるものの、地域の課題解決や広く市民にとって利益となる「公益性」の面でその効果に疑問があり、また補助対象として採択する基準に満たなかったことから、不採択とする。
	A-新-8 事業名：八王子恩方地域を元気にする会 団体名：資源循環環境研究所 B委員 耕作放棄地対策が課題であることは理解できるが、今回の応募事業の内容からは「公益性」があまり感じられなかった。 E委員 農地法に抵触する恐れがある事業に、補助金を交付することは適当ではない。 D委員 恩方地域を活性化したいとの想いは感じるが、収支計画では支出の多くが獣害対策の研究費に費やされており、本補助金の対象事業としてバランスがよくないことが気になる。獣害対策の研究は専門家に任せて、専門家の知見や成果を活かして事業を行うという方向になれば、地域活性化の試みとして期待できるのではないか。 座長 本事業は、農地を借り受けて実施するものだが、この点について、農地法に抵触するとの指摘が市の担当課からあり、また、評価の結果も補助対象として採択する基準に満たなかったことから、不採択とする。
活動支援部門 評価結果 採択：6事業 不採択：5事業 取り下げ：1事業 【採 択】 A-新-1、4、5、9、A-②-1、2 【不採択】 A-新-2、3、6、8、10 【取り下げ】 A-新-7	

議 事 内 容	(2) 事業実施部門
	B-②-1 事業名:HACHIDORI ~HACHIOJI ROCK DREAM 団体名 : HACHIDORI フェスティバル実行委員会 B 委員 補助を受けずに、自立していくことを視野に入れながら活動していただきたい。 有名なフェスになれば面白いと思うし、公益にもつながると思うが、自分たちだけが楽しいお祭り騒ぎにならないよう、地域への配慮もお願いしたい。 D 委員 本事業を始めて 3 年目という節目を、新たな発想で実現してほしい。近隣市への広報などは十分に行っているのだろうか。今後事業を継続していくためには、市内外を問わず広報していく必要があると思う。また、未出演であるメジャーなアーティストへの出演交渉も早くから行っていただきたい。 F 委員 実行力、集客力、宣伝力などに問題はなく、八王子のビッグイベントの一つに数えられる事業に成長して、産業振興に寄与することを期待したい。 座長 採択基準を満たし、補助金交付の必要性について全員が有りとしたことから、特に問題無しとし、採択とする。
	B-③-1 事業名 : 生産加工の容易な農産物で地域の環境保全と活性化を図る ! 団体名 : 特定非営利活動法人すまいるカフェ B 委員 農業振興や耕作放棄地対策、世代間交流など、市の利益にもなる活動だと思う。一方、会員に男性が少ないこと、獣害対策などにどれだけの知識や専門性があるのか気になった。今後、フードバンクや子ども食堂などの他団体との連携も考慮してほしい。 D 委員 補助金のかなりの額が防獣ネットに使われてしまうのは残念に感じる。収穫した野菜などの販路を広げていくために、広報用のツール制作なども検討してはどうか。今後、若い方々の参加を増やし、会員の高齢化に備えてほしいと思う。 F 委員 地道だが、加工品の種類を増やすなど、できることが着実に増えている点は評価できる。補助期間中に、自立運営についての基盤を整えてほしいと思う。

議 事 内 容	座長 委員から意見があったように、獣害対策に力を入れすぎて事業の趣旨を損なうことの無いよう要望したい。また、活動の継続を考えると他団体との連携も必要ではないか。 (委員から異議なし) では、採択基準を満たし、補助金交付の必要性について全員が有りとした事から、採択とするが、「獣害対策については、最も効果的な方法を選択するとともに、収穫物の活用先としてフードバンク等との連携を図ること。」との要望を付すこととする。
	B-②-2 事業名：保育園訪問「フレンドリースマイル」、小・中学校訪問「ドリームスクール」 団体名：一般社団法人トレインズアカデミー B 委員 八王子出身者が、八王子のために何かしようという姿勢を、純粋にすごいと感じた。幼少期から、プロの技術に触れるという貴重な機会があることは良いことだし、また、この事業をきっかけにスポーツ振興につながればよいとも思った。今後、自立した運営に向けて、資金面だけでなく、内容の充実も考えて、様々な事情でクラブに入れない子ども達でも楽しめる事業としてもらいたい。 D 委員 公開プレゼンテーションでの発表内容から、しっかりと活動している様子が見て取れ、今後も継続していくことが必要だと思った。 F 委員 野球やサッカーチームの選手と子供たちとの交流はニュースでもよく目にするが、バスケットボールはまだこれからの段階だと思う。その中でプロバスケットボールチームが地元にあり、そのチームが積極的に子供たちとの交流の機会を設けていることは共感できる。28 年度は訪問を 65 回実施し、29 年度はさらに活動回数を増やしたいということで、ぜひ応援したいと思った。 座長 採択基準を満たし、補助金交付の必要性について全員が有りとした事から、特に問題無しとし、採択とする。
	B-新-3 事業名：八王子市 犬猫殺処分ゼロミッション 保護活動事業 団体名：「津久井・橋本・八王子」犬猫の会 B 委員 活動自体の重要性は感じるが、収入面で不安がある。本補助金を犬や猫の世話だけに使うのではなく、活動を広げたり、企業や他団体などとの連携につなげ、補助終了後も、自立して活動できる団体になってほしい。

議 事 内 容	F 委員 犬や猫の殺処分ゼロとともに、保護した犬や猫をペットと同様に飼育し、すべての保護犬・保護猫を幸せにするというミッションは大変素晴らしく、共感できた。ただ、現状自己負担している費用を、そのまま本補助金で賄うだけでは、補助終了後にまたもとどおりになってしまう恐れがある。 事業化が難しかった動物の保護活動も、近年、保護猫カフェやグッズ販売、猫付きマンションなどのアイデアで事業化したケースもあるという。補助対象となる期間中に収入を得る仕組みを考えてほしい。 座長 本事業は、採択基準を満たし、補助金交付の必要性について全員が有りとした事から、採択とするが、委員から意見があったように「補助終了後も活動を継続できるよう、会員の個人負担ではなく、新たな財源確保に向けた取り組みの実施」について要望を付したい。また「保健所や他の動物愛護団体との連携・情報交換を積極的に行い、自立に向けた方策を検討されることを期待したい。」との要望も併せて付すこととする。
	B-新-2 事業名：子安市民センター大学の運営を通しての地域活性化の取り組み 団体名：一般社団法人市民社会とレジリエンス研究所 事務局 A委員から「事業の収入は本補助金と多額の寄付に頼っており、継続性の面で不安がある」との意見をいただいている。 B 委員 生きがいづくり、健康増進、他者との関わりを持つことで「見守り」の環境を作るなど、この事業が上手く機能すれば地域コミュニティの活性化につながるのではないか。 D 委員 公開プレゼンテーションの際の「本事業の修了生を地域のボランティアとして活動に参画させていく」との視点は評価できる。一方、発表のなかで「見守り」という視点が急に出てきて、企画全体の曖昧性を強めた点が残念である。 F 委員 活動を継続するために、必要最低限の会費を徴収するなど、収支計画の見直しが必要だと思われる。 座長 本事業について、企画の内容に創意や公益性を認めるものの、収支計画に不安があり、また、講座1回あたりの参加者数が少なく効果が限定的であることなどから、補助対象として採択する基準に満たなかったことから、不採択とする。
	B-新-5 事業名：世界に誇る「高尾山」等の森林・自然を活かした「自然保育・森のようちえん」社会化事業 団体名：Forest Style TAKAO

議 事 内 容	事務局 A委員から「自然の中での保育は危機管理が不可欠だが、予算的に配慮されていない点に不安を感じた。また、保育施設を立ち上げた後の運営について、具体性が感じられなかった。すべてにおいて『保護者の意向』とのことで、補助金の交付は時期尚早と考える。」との意見をいただいている。 B委員 東京都にありながら豊かな自然を有する八王子らしい企画だと思う。自然保育で八王子が有名になり、それを必要とする人が市外から訪れるようになるかもしれない魅力的な企画であるが、資金面や運営体制面など、不明確かつ具体的でない部分が多いとも感じた。 C委員 収入面について、事業費全体の90%を助成金等で賄う計画であり、継続性の面で課題がある。 D委員 市内の保育所、幼稚園への啓発活動を主にするのであれば理解できるが、モデル事業を行う点に疑問を感じた。 F委員 専門性もあり、活動のPR動画など見せ方もうまく、実行自体に問題はないと思うが、市民活動というよりは営利事業の一つである印象を拭いきれなかった。また、本補助金を得て、事業として何を実施したいのか判然としなかった。 座長 本事業は、八王子市の地域資源である森林や自然を活用するなど、創意は感じられるものの、保育施設の立ち上げや運営面で具体性が感じられず、収支計画についても継続性・実現性の面で不安があり、また、補助対象として採択する基準に満たなかったため、不採択とする。 B-新-4 事業名：市政 100 年花とみどりのフェスティバル 八王子の魅力みつけどうららぎツアーと心くばり N01 シティー八王子おこし 団体名：特定非営利活動法人八王子是市民の会 事務局 A委員から「事業に創意は感じられるが、実施計画と収支計画の整合性がなく、実現できるのか非常に不安がある。」との意見をいただいている。 B委員 企画の一つひとつに魅力を感じるものの、もう少し的を絞る、ブラッシュアップするなど、更なる検討が必要だと感じた。代表者には八王子を想う熱意があるので、計画で具体性に欠ける部分を詰めてほしいと思う。 E委員 春まつりのイベントについては自主運営する力を持っていると思われ、本補助金の趣旨に沿っていない感がある。
---------	--

	F 委員 代表者が一人で奮闘しているようであり、計画している事業に比べ実働メンバーが少ないことが気になった。 座長 本事業は、企画の内容に創意や魅力を感じるものの、事業計画と収支計画に整合性が認められず、また、補助対象として採択する基準に満たなかったことから、不採択とする。
	B-新-1 事業名：第2回泰安市青少年芸術交流団公演会 団体名：八王子市日本中国友好協会 B 委員 実施計画の「事業の効果」欄に「地域というより」と記載されていたことが気になった。日中友好を目指すのは良いことであり、八王子がその先駆けとなるのは素晴らしいが、日中友好に市民がどれほど興味、関心を持っているのかが気がかりである。 E 委員 収支計画に土産、団員の移動、歓送迎会費、予備費を計上するなど、一般的な公演事業であるように思え、本補助金の趣旨とする、よりよい市民生活のための事業とは言えないように感じた。 D 委員 発表者の強い想いを感じたが、計画性や理念の説明が不足し、100万円の補助を決定するには弱いと思った。 F 委員 市民間の草の根交流を否定するものではないが、公益性という視点からすると補助金の使途に疑問を感じた。 座長 本事業は、市民交流としてその意義は認めるものの、事業計画や収支計画に不明確な点があること、また「公益性」の面でその効果に疑問があることなどから、補助対象として採択する基準を満たさず、不採択とする。
事業実施部門 評価結果 採択：4事業 不採択：4事業 【採 択】 B-新-3、B-②-1、2、B-③-1 【不採択】 B-新-1、2、4、5	
今後の日程について	・団体への内示 4月21日（金）（予定） ・団体への交付説明会 5月19日（金）午後3時30分～（予定） ・交付事業についての市民への周知 6月15日（木）広報「はちおうじ」ほか ・平成28年度交付対象事業の成果報告会 6月24日（土）午後1時30分～5時 （場所：北野市民センター）
閉会	